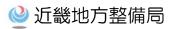
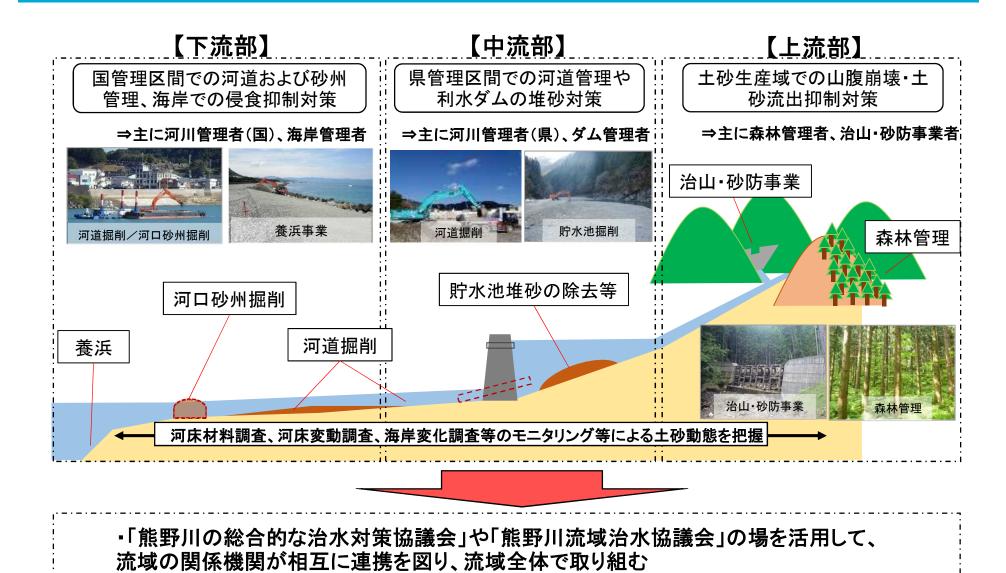
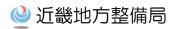
❷ 近畿地方整備局 新宮川水系河川整備基本方針の目標に向けた段階的整備の記載について 参考資料1 河川整備計画(原案)に対する 意見への対応方針 補足資料 流量 相賀地点 想定される最大規模 施設能力を超える洪水に対しても、氾濫による被害を軽減 24,000m³/s $24.000 \,\mathrm{m}^3/\mathrm{s}$ 洪水調節施設等による ・ダムの事前放流 平成23年9月洪水と同程度である ·雨水貯留施設 調節流量1,000m3/s $23.000 \,\mathrm{m}^3/\mathrm{s}$ -24,000m³/sの流量に対しても 残りの河道配分流量 できるだけ水位を低下 1,000m3/s 22,000m³/s 基本高水のピー 河道整備 平成23年9月洪水に相当する流量が 発生した場合でも堤防からの越水を防止 の 河道配分 河道配分 19,000m³/s 目標流量 流量 災害復旧,再度災害防止対策 -ク流量 河道配分 流量 河川整備計画 時間軸 現在 30年後 再度災害防止対策 河川整備計画 河川整備基本方針 (策定時) 計画 河道整備実施のイメージ 流域のあらゆる関係者による 総合的・多層的な取り組み 1

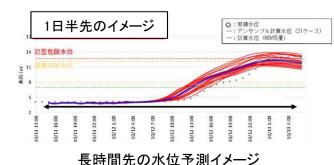


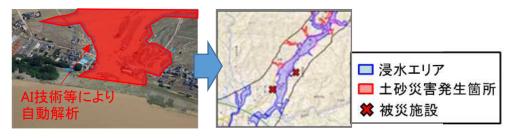




危機管理体制の構築

住民の適切な避難行動の確保や水防活動の支援し、住民とのリスクコミュニケーションを向上させるため、長時間先の水位予測技術の開発やAI技術等を活用した浸水範囲の自動解析による被災状況のリアルタイムでの把握を行い、関係機関に迅速に情報共有を行う等のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進することで、危機管理体制の高度化、効率化を図る。





AI技術等を活用した浸水範囲の自動解析イメージ

河川管理の高度化、効率化

実施にあたっては、ライフサイクルコストの縮減を念頭に、効率的、効果的な維持管理を実施していく。三次元データを活用した地形状況等を面的に把握できる三次元管内図の作成や堤防除草の自動化への活用等の河川管理の効率化・省力化や、排水機場等の河川管理施設の監視・操作を遠隔化・自動化すること等のDXを推進することで河川管理の高度化、効率化を図る。



三次元管内図イメージ



堤防除草の自動化イメージ



河川管理施設の遠隔化イメージ (排水機場の例)